

# 学校心理士会神奈川支部ニュースレター

第1号



2005年10月16日発行  
発行責任者 岡田守弘  
〒240-8501 神奈川県横浜市  
保土ヶ谷区常盤台 79-2

## 創刊のごあいさつ

神奈川支部ニュースレターが発行されることとなり、大変うれしく思っています。役員には仕事の合間にボランティアで支部活動を支えて頂いておりますので、名簿管理、研修会開催、地区会活動、会務・会計事務に加えて、ニュースレターを定期的に刊行するにはかなりの覚悟がいりました。今後は、この紙面を通して、神奈川支部会員の皆様の情報交換や研究・交流の場として活用して下さることを期待します。

さて、神奈川支部設立から6年が経ちますので、経緯を振り返ることにしましょう。1997年に学校心理士資格認定が始まり、初めての学校心理士が291人誕生しました。1999年3月には全国で600人を超え、神奈川地域においても70余人（現在は約250人）が在住あるいは勤務していましたので、地域に根ざした交流・研究組織を設立しようとの機運が生まれました。そこで、16人の発起人の呼びかけによって1999年5月22日に神奈川支部が設立されました。

横浜国立大学教育文化ホールが設立総会会場となり、第1回研修会が行われました。その時の内容は、講演「学校心理学と教育心理学—教育実践に役立つ心理学を求めて（早稲田大学：並木博）」（以下敬称略、当時の所属）と、シンポジウム「スクールサイコロジスト養成研修と学校における取り組み（平塚ろう学校：田村順一、第二教育センター：上村恵津子、中原養護学校：羽中田正叔、鎌倉養護学校：小俣恭人、相模原養護学校：泉国）」でした。その後、毎年春と秋に研修会を開催してきました。2005年には通算で14回となり、第13回は講演「あらためて学校心理士を考える」（筑波大学：石隈俊紀）でした。また、2003年には県内6地区での自主的研究会（地区会）が始まっています。

臨床心理士及び医療心理師国家資格化が急浮上し（国会に未だ上程されていません）、心理師の職能や資質の在り方が注目されています。一方、学校心理士への社会的認識や組織的活動はこれまでのところ十分ではありませんでした。このニュースレター創刊によって、神奈川支部会員が活躍する契機となることを心から願っています。

（日本学校心理士会神奈川支部長 岡田守弘）

## 17年度総会の報告

平成17年度日本学校心理士会神奈川支部総会・研修会は以下のとおり行われました。

1. 日時：平成17年6月18日（土）12:00～17:00
2. 会場：鶴見大学会館 参加者：支部会員130名、他支部18名、一般参加29名計177名
3. 総会の議事と審議結果
  1. 開会
  2. 支部長挨拶 岡田守弘
  3. 議長選出 北村耕一氏を選出
  4. 議事
    - (1) 第1号議案 平成16年度事業報告並びに決算・監査報告について・・・承認

- (2) 第 2 号議案 平成 17 年度事業計画並びに予算案について . . . 承認
- (3) 第 3 号議案 規約等の見直しについて . . . 承認(別紙参照)
- (4) 第 4 号議案 新規役員の改選について . . . 承認

4. 講演 「あらためて学校心理士を考えるー スコットランド・イングランドを訪問してー」  
 講師 石隈 利紀 先生 (筑波大学教授)

(参考)

第 1 号議案 平成 16 年度事業報告並びに決算・監査報告

1. 平成 16 年度事業報告

(1) 総会 第 6 回総会 平成 16 年 6 月 20 日 横浜国立大学教育文化ホール

(2) 研修会

① 第 11 回研修会 平成 16 年 6 月 20 日

横浜国立大学教育文化ホール 154 名

講師：玉瀬 耕治 テマ：「カウンセリングと言葉

ー マイクロカウンセリングと発達論の視点から」

② 第 12 回研修会 平成 16 年 10 月 24 日 横浜市社会福祉協議会

福祉保健研修交流センター(ウィリング横浜) 102 名

講師：大草 正信 テマ：「学校心理士の実務を求めて

ー 学校・教師への危機介入を通して」

(3) 地区会活動

16 年度には 1 川崎地区, 2 横浜地区, 3 横須賀地区, 4 湘南地区, 5 県北地区,

6 県西地区の 6 地区会となり、勉強会・情報交換などの活動が始まった。

(4) 役員会 (省略)

(5) 広報 (省略)

2. 平成 16 年度決算・監査報告 (省略)

第 2 号議案 平成 17 年度事業計画並びに予算

1. 平成 17 年度事業計画 (案)

1. 総会開催

2. 研修会を年 2 回開催

3. 地区会活動

4. 役員会年 4 回

(石隈先生の講演)

(1) 総会 第 7 回総会 平成 17 年 6 月 18 日 鶴見大学会館

(2) 研修会 ① 第 13 回研修会 平成 17 年 6 月 18 日 鶴見大学会館

講師：石隈 利紀 テマ：「あらためて学校心理士を考える

ー スコットランド・イングランドを訪問して」

② 第 14 回研修会 平成 17 年 10 月 16 日

福祉保健研修交流センター (ウィリング横浜)

講師：未定

テーマ：「未定」

(3) 地区会 昨年度に引き続き、地区会活動の充実を図る。

支部ニューズレター委員会を立ち上げ、年二回の発刊を目指す。

(委員会メンバー：田村、宍戸、北村、泉原)

2. 平成 17 年度予算 (案) (省略)



第3号議案 規約等の見直しについて (改正後の新規約を添付しました)

(1)規約の改定について

第6条 役員について

第④項に「顧問 若干名」加える。(注：支部長の補佐役、任命権は支部長)

第7条 任期について

「選出された総会から3年後の総会までの3年間とする」、と部分修正する。

(2)会計規則の改定について

第一条 (経費) ③の条項を削除する (学校心理士会でのサブ会員制度が無くなるため)

⑤「総会・研修での納入を受け付ける」を削除

第四条 (会計監査)

会計監査の任期を1年から3年とする。

第4号議案 新規役員の改選について

新役員は以下のとおり提案され、承認されました。

顧問 並木 博

理事

有賀 伸興 (日本健育高等学院)

泉原 恭子

会計

久保田まり (東洋英和女学院大学)

古屋 美雪 (横浜市立あざみ野中学校)

北村 耕一 (横須賀市立衣笠中学校)

松村 茂治 (東京学芸大学)

仲手川勉 (平塚市立金田小学校)

成田 悦雄 (横浜市立高等養護学校)

大草 正信 (大草心理臨床・教育相談室)

岡田 守弘 (横浜国立大学)

支部長

齋藤 一政 (幼児教育アカデミー)

宍戸 修 (県立茅ヶ崎養護学校)

高橋 三善 (横浜市スクールスーパーバイザー)

田村 順一 (神奈川県立武山養護学校)

副支部長

内山 慶子 (県立総合教育センター教育相談センター)

芳川 玲子 (横浜国立大学)

渡田 典子 (横浜市立平沼小学校)

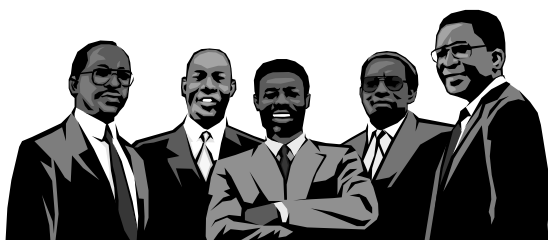
会計

会計監査

橋本 淑美 (県立金沢総合高等学校)

湯山 美代子 (南足柄市スクールカウンセラー)

(支部役員一同)



### 石隈先生講演内容概略

石隈先生のご講演を、今回の海外研修の同行者として、また当日の聴衆の一人であるとともに司会をさせていただいた者として、以下のように受け止めました。

表題の「あらためて」の中には重層的な意味が込められています。石隈先生は米国でスクールサイコロジストの実務に携わってきた経験を基に、我が国の教育現場に学校心理士の制度を定着させる必要性を早くから訴えておられました。2年前の学校心理士英国研修において教育現場での心理専門家の仕事を見聞され、今回再び、エデュケーショナルサイコロジスト（教育心理士：米国の学校心理士とほぼ同様の機能を果たしている）や特別な教育ニーズコーディネーター（SENCo）の活動とその養成システムに接し、我が国での学校心理士養成に思いを新たにすることになった、ということだと思います。研修旅行中に、先生から「日本の学校心理士の養成制度を確立しなければならない」という言葉を聞きました。

講演で強調されたことの一つは、イングランドでもスコットランドでも、社会全体として「インクルージョン」の発展を目指していること、そして、その目標を達成するために、教育が中核的な役割をはたしているということだったと思います。イングランドでは、1981年に新たな教育法が制定され、学習に困難のある子どもたち（これは、非常に幅広いとらえ方です）に対し、それぞれのニーズに応じた教育を提供することが求められるようになって、実に学齢児の20%が特別なニーズ教育の対象になっているということです。

我が国の学校心理士の養成を考えていく際には、国としてどのような社会の実現を目指すのかを明確にし、その中で教育の果たす役割を考えていくことが重要であるということが、ご講演の中心的なテーマだったと受け止めました。（文責 松村茂治）

## 支部からのお知らせ

○15年度から会員みなさんに呼びかけ、県内各地区ごとに自主的な研究会を行っています。現在、県内で「川崎地区、横浜地区、藤沢・茅ヶ崎地区、横須賀・三浦地区、県北地区、県西地区」などに分かれ、それぞれ活動していますが、地区によって人数的ばらつきや温度差もありますので、次号以降かく地区会の様子をお知らせしていきたいと思います。

○学校心理士の資格更新手続きの締め切りは10月31日です。2005年度は、2000年に資格取得された方が更新に当たります。4月頃該当の方には通知と手続き書類が届いているとは思いますが、お忘れなようご確認ください。詳しくは以下のサイトをご覧ください。<http://www.gakkoushinrishi.jp/>（学校心理士認定運営機構）



### 編集後記

神奈川支部ニューズレターを刊行いたしました。これまで総会、研修会でしかお伝えできなかった様々な情報を、年2回の発行によってお知らせするようにしたいと考えています。紙面に対するご意見ご要望をお待ちしております。また、投稿も歓迎です。支部の皆様にとって有益なコミュニケーションの場になることを期待しています。

e-mail.spkanagawa@yahoo.co.jp（編集部）